

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成25年4月15日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4691200366
法人名	医療法人 生成会
事業所名	グループホーム とうりんじハウス
所在地	鹿児島県霧島市隼人町東郷102番地 (電話) 0995-73-6311
自己評価作成日	平成25年3月15日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46">http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成25年3月30日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ・これからの人生を家庭的な雰囲気の中でその人らしくゆったりと生活が送れるようのお手伝いします。
- ・家族地域の方々との絆を大切にします。
- ・笑顔で思いやりのある声かけを心がけます。
- ・ご利用いただく方の今のそのまますを認め  
そのまますを受け入れ  
そのまますの生活維持
- ・向上を可能としていくために私達は、  
当たり前の生活を  
当たり前の関わりで  
ごく当たり前に提供します

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は医療法人が母体で、医療機関と隣接し医療面でのバックアップが確保されている。また、協力医療機関から定期的な往診や緊急時の対応など、医療連携が取れており、利用者や家族にとって安心できる生活環境である。
- ・ホームは、住宅地域に位置し、周辺には銀行や薬局・耳鼻科・スーパーマーケットなどがあり、地域住民ともふれあいながら暮らしている。
- ・ホームの名称を地区自治会名の「東林寺」に因んで名付けている。町内会に加入し、回覧板等で地域と情報のやり取りを行いながら、地域の介護相談所としての看板も掲げて、日常的に地域住民との交流に努めている。
- ・災害対策については、定期的に防災訓練を実施し、安全対策の整備もされている。今後、地域マップを整備し、地域住民との協力体制の充実を図ることを目指している。
- ・代表や管理者は、職員の働きやすい職場環境作りに配慮し、要望や意見の把握に取り組み、職員はケア対応等の更なる向上に努めている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念を掲示している。 毎月第4金曜日にスタッフ会議にて理念を基にケースカンファレンスを行なってその人らしさを優先に考え対応している。	地域密着型サービスの意義を踏まえた理念を作成し、玄関やホール等に掲示している。申し送りや職員会議で話し合い、具体的なケアにつながるように、理念の共有と実践を図っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	自治会へ入会している。 新聞の発行時は、自治会の回覧版と一緒に回してもらっている。運営推進会議に地域の方3名参加してもらっている。散歩の途中で近所の店へ立ち寄ってくる。	自治会に加入し、ホーム便りや回覧板等で地域と情報交換をしている。地域行事に積極的に参加し、買い物際には、挨拶や会話を楽しんでいる。地域へ災害時の協力要請もしている。保育園児や小・中学生との交流、ボランティアの受け入れなども行っている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	新聞に認知症の事取り上げわかりやすい様に記載している。 温泉へ行かれたり散歩の方等道路を通られる方には、気軽に声掛けし理解してもらうようにしている。 ライフサポートワーカーの看板を掲げている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>入居者、職員、行事などの状況を報告し毎回テーマを決めて、会議メンバーで話し合ったことなどスタッフ会議メンバーで話し合ったことを報告し、今後のケアサービスにつなげている。即必要な事は、申し送りノートを利用し対応しながらサービスの向上に活かしている。</p>	<p>会議は家族代表や市担当者・地域包括センター職員・自治会代表・民生委員・職員等の参加で、定期的開催している。事業所の状況報告を行い、現在取り組んでいる内容について、意見交換をしている。会議の内容はミーティングで職員に報告し、運営に活かされている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>市の担当窓口相談に行ったり、運営推進会議の案内は、必ず窓口にも直接もって行きお願いしている。市・地域密着型サービスの勉強会への参加は、スタッフ交替で参加している。</p>	<p>市担当者の運営推進会議の参加や地域密着型サービスの勉強会の折に情報交換や実情を話し合い、必要時には窓口相談に行ったり、アドバイスをもらう等、積極的に関わり、協力関係ができています。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束ゼロの掲示を行ない職員も理解し、利用者の行動を見守りながら安全を考えて、特に言葉の拘束は注意しながら声かけを行なって支援している。玄関の施錠などはしていない。</p>	<p>マニュアルを基本に、勉強会を実施し、身体拘束廃止についての具体的な行為を理解し、共通認識を図っている。昼間の玄関は開放して、職員間の連携で、安全で自由な暮らしを支援している。事故防止のためやむを得ず拘束が必要な場合には、家族に説明し同意書を取っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>資料を集めて、スタッフ会議で意識づけしながら虐待防止につとめている。職員もストレスがたまらない様に本人の希望をできるだけ取入れている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>家族と疎遠の入居者さんがおられたりすると、これからの人権や財産管理、権利擁護が必要になられた時の為に学習知識は必要であるので、学習して行こうと思っている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約の前に、家族へ説明しホームでの生活状況、雰囲気を感じてもらおう為、お茶を飲みながら話を聞き説明を行なっている。家族本人が納得してもらって契約を行なっている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>運営推進会議を利用して入居者、家族も参加いただいている。誕生会、その他の行事、面会に来られた時に個別に意見や要望を聞きスタッフ会議で検討している。遠くに居られる方は手紙で写真・新聞等の近況報告している。</p>	<p>利用者や家族には、日頃から何でも言ってもらえる雰囲気作りに留意している。利用者の状況を電話やホーム便りで報告し、面会時や行事参加時に、意見や要望等を出してもらっている。出された意見については、職員で話し合い運営に反映している。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>スタッフ会議での意見は、事務長 代表者へ報告し、改善希望は、できるだ事は、聞き入れてもらっている。他の施設の管理者とも連携を取りながら情報を得て改善に取り組んでいる。</p>	<p>管理者は、スタッフ会議などで職員の意見や提案を積極的に聞き、その反映を図るよう心がけている。また、日常的に、職員が意見や要望を出しやすい雰囲気を作っている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>毎月の勤務希望を基に勤務表の作成を行ない必ず有給休暇は誕生月に1日は取る様にしている。かねての勤務体制においては、急用時などスタッフ同士で勤務に支障が無い様に交替できている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>各自の仕事内容に対する判断評価により、必要と思われる研修又は本人希望の研修への参加は、進んで参加してもらいレベルアップへつなげている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地域密着型サービス事業所と、グループホーム協議会への加入で活動への参加する事で他の事業所職員との交流ができています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所以前に家族と一緒に立ち寄って頂き、他の入所さん、スタッフとお茶を頂きながら、雰囲気になじんでもらい、表情会話などから、不安を受容している。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	本人、家族の話を聴き、双方の気持ちを汲み取り、支援の方法を話し合い、入居時の不安を少くできる様にする。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人、家族の思いを聴き、他の介護サービス事業所、医療機関等の資料を基に、今必要な事を判断しこれからの他のサービスも視野に入れて助言も行なっていく。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者の困り事を見て、聞いて感じて、相手の立場に立った支援ができ、スタッフも一緒に生活をするという思いで関係を築いていく。本人のできる事を自然に一緒に行なえる関係作りを心掛けている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会に来られた家族は、入居者さんと、一緒にお茶を飲み、会話してもらい時には、墓参りや、食事に連れて行ってもらったり、問題や相談があれば一緒に考え対応している。手紙・電話の利用もある。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	今まで使用していた物、ここは自分の部屋であるという事がわかる様に写真等飾ってある。入居者の馴染みの店や、自宅等散歩の時に必ず立ち寄るようにしている。1ヶ月1～2回娘さん宅へ外泊される入居者さんもおられる。	入居時に本人や家族から情報を得て、行きつけの理・美容院や買い物店等との継続的關係が途切れないよう、働きかけ支援に努めている。また、散歩などの外出時に、自宅に立ち寄ったり、家族の協力で墓参もしている。	
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者さん同士の声かけもよくされて車椅子で動けない方にも近寄って会話されている。仲良く日なたぼっこをされている。テーブルイスの位置も配慮している。リビングのソファの座り方も時には職員も間に入り支援に務めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	途中でサービスを中止された方がいないのでこれから出てきたらフォローし、相談支援にしていこうと思う。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	一人一人の話に傾聴し毎日の生活の中で表情や会話の中から把握、発見した利用者さんの思いや意向を職員間で情報を共有しながら、今一番その方に必要な事を優先し対応するように努めている。家族にも、本人の思いを伝え、できる事は手伝ってもらう。	利用開始時に、本人や家族から思いや意向を聞き、また、日常の会話や表情・行動の中で、思い等を把握している。困難な場合は、家族に相談し職員で話し合い、本人本位に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人、家族、周囲の方今まで利用されていたサービス機関からの情報を得て暮らしの把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	その方の生活リズムに合わせて、行動、言葉、表情から思いに沿った支援を行なっている。その日によって違うので、1日1日の状況に合わせて援助するように心掛けている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日々の生活の中で思いや希望を感じ職員間でのあり方、モニタリング評価を行ない、家族の面会時に現状を報告し家族の思いを聴き、今後の介護計画の作成に生かす。	本人や家族などの意向をもとに、スタッフ会議で協議し、介護計画を作成し、6ヶ月毎に、モニタリングを実施している。状況が変化した時は、現状に即した介護計画の見直しを行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録は、本人の言われた言葉で記載して、普段と違った状況時は、必ず記録している。職員間の申し送りは、必ず、介護記録を見ながら実施し、情報を共有して、計画を見直していく。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	入居前の生活に近づける為に本人の希望、今までの生活習慣に沿って、外出・受診支援・自治会の方々とのつながりを継続できる様に取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働  一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ボランティアで地域の音楽グループ中学校吹奏楽の子供達との演奏ふれあい保育園の子供達との交流などがあり、楽しみにされている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	毎月2回訪問診療あり、体調不良時は、いつでも早めの対応に心掛けている。リハビリに出かけている。	本人や家族の希望するかかりつけ医の受診や往診が継続できるよう支援している。専門医との連携も密で、主治医や協力医療機関と連携を取りながら適切な医療支援が行われている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>毎日、健康チェックを行ない、体調の変化時は、職場内の看護師が対応する。医療的処置の必要な時は、主治医連絡受診。対応できている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時は、管理者、スタッフが訪問し医療機関と情報交換しながら、早期の退院へともっていく。看護師が居るので、直接状況の把握ができ判断し、病院関係者とも関係作りができていく。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居時に看取り介護の説明を行なっている。重症化した時の状況を主治医・家族・職員で話し合い日々のケアを共有している。医療機関との情報交換し、主治医・家族・職員で話し合いケアの共有理解を深め、良い終末期が送れる様に連携しながら支援に取り組んでいる。</p>	<p>本人や家族とよく話し合うとともに、重度化や終末期に伴う対応の指針を説明し、同意書をもっている。また、状況に応じ繰り返し意思を確認している。ホームの方針について、職員全員が共有し、看取りの経験がある。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変時の応急手当や緊急時の人工呼吸・心臓マッサージ・AEDの使用方法等、年間2回程、理事長により勉強している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策  火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の防災訓練、年2回の自主訓練を行なっている。スタッフは、常に自分で考えて行動できる様にしている。自治会は、高齢者が多く地域の協力を得るのは困難と思われる。備蓄品の準備もある。	消防署の指導のもと、年2回、昼・夜間想定 of 防災訓練を実施している。自主訓練も行い、避難場所も決めている。スプリンクラー等の防火設備もある。今後、地域マップを整備し、地域住民との協力体制の充実を検討中である。災害用の備蓄もある。	
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	その方にあった言葉かけをしている。特に排泄に関しては、注意してプライドを傷つけないでプライバシーを守る対応を行っている。	日々の関わりの中で、特に排せつや入浴・更衣時に利用者への尊厳とプライバシーに配慮したケアや言葉かけを行っている。職員の採用時、個人情報保護についての誓約書をとっている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入居者が話しやすい雰囲気作りをしながら、その方の理解力に合わせて話し本人の希望や決定ができるように支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入浴など、利用者さんの希望や体調で時間や曜日等変更したり、昼寝をしたい方など、自由にしてもらっている。レクリエーションも本人の希望で参加してもらっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	毎朝、自分で化粧されてから出て来られる方もおられる。服装や入浴の準備は、利用者さんと一緒に選んで決めている。散髪は利用者さんの希望で来て貰い直接行って貰ったりしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者さんの希望も聞きながら、メニューも決めたり、野菜切りや、茶碗洗いお盆拭き等の手伝いも一緒にして貰っている。誕生日は、本人の好きな物をメニューに入れている。	食事は、利用者のアセスメントで嗜好を聞き、献立を工夫している。利用者は、可能な範囲で、準備や後片づけを職員と一緒にしている。誕生会や行事などで、食事が楽しみなものになるよう好みの献立にしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	1日の経過表で食事、水分摂取量の把握している。一人一人の摂取状況で1口大にしたり、刻んだり、楽しく自分で、自分のペースで食べられる様に支援している。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後は声かけをしたり、どうしていいかわからない方には自室で歯ブラシを渡し、磨いて貰い、できない所は介助している。全員自室の洗面所での支援を行なっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	経過表の排泄チェック表を確認して声かけをしている。昼間ほとんどトイレを使用されているが、夜間は転倒防止も兼ねてポータブルトイレを利用されている方もいる。車椅子からの便座移乗が起立訓練にもつながっているため昼間トイレ移乗の支援を行なっている。	個々の排泄パターンを把握し、排泄チェック表で、自尊心に配慮しながら、トイレでの排泄を支援している。夜間ポータブルトイレを使う利用人も昼間はトイレでの排泄に取り組む等、おむつを減らす取り組みと排泄の自立を支援している。	
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便がスムーズに行なえる様に、食事の工夫水分摂取や、オヤツにサツマイモなどを材料にした、おやつを手作りしている。腹部マッサージ、体操なども取り入れている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援している	週3回の入浴を基にしている。ゆっくりと本人のペースで入浴してもらって介助で入浴できない方は機械を利用し、浴槽内にくつろいでもらっている。希望者に応じて入浴剤を利用したり気分転換もはかっている。	入浴は週3回であるが、希望により毎日の入浴も可能である。身体状況により、機械浴で安全に入浴を楽しめるよう配慮している。希望者には入浴剤を使用している。	
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	その方に応じた睡眠のパターンに合わせて、表情、訴えに注意して声かけしながら安心して眠れる様に見守っている。必要時は昼寝もされている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬説明書をファイルしてあり、いつでも確認できる様にしてある。薬の袋にも薬品名が記入されている。服薬時も、名前と個数を確認して飲んで頂いている。変更、臨時の処方も確実に全員がわかる様に箱に入っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	毎日の生活の中で自分でできる事を手伝ったり、今までした事もない事でも、できる喜びを感じたり、四季の行事での楽しみや散歩での季節感を感じてもらっている。毎晩飲酒される方もいる。		
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	自宅までの外出墓参り、ドライブ等、本人の希望で家族であったり、スタッフであったりしながら外出支援をしている。他のグループホームへのお茶飲み等も参加させてもらって交流をはかっている。	一人ひとりの楽しみごとに合わせて、散歩や買い物・ドライブ・他のグループホームとのお茶のみ交流など、戸外に出かけられるよう支援している。年間計画を立てて、地域のイベントや足湯などにも出かけている。家族の協力を得て墓参も支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	現金をホームで預かっている方もあるが、買い物は、依頼される方が多い。近所の店へ出かける事もあるが、自分で使われる事はほとんどない。		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	入居者さんへの希望で家族へ電話をかける支援をして、会話される。遠くの方々には、手紙を書いたり写真・新聞（とうりんじハウス便り）を入れて近況を知って頂いている。		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	各居室は、ドアを開けると外と通じている共用の空間は、台所から全部を見渡せる様にできている。居間は大きな窓から太陽が入り、冬は日なたでほっこりされている。庭は無いがプランターに花や野菜が植えてある。季節感を感じられる。	共用の空間は、広々と明るく、大きな窓から採光を取り入れて、加湿器も設置してある。掃除も行き届き、清潔である。ホールの随所にソファを置き、のんびりと落ち着ける家庭的な空間で居心地よく暮らしている。	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	居間でゆっくり外を眺めたり、テレビを見たりぬいぐるみに子守歌を唄ったり、思い思いに過ごされている。数人で小さいテーブルを囲み話をしたりそれぞれの居場所で過ごすことができる。		



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない